

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	漏水修理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	水道工務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	矢幡 哲夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市水道利用者	意図	配水管や給水管を適切に管理することで、有収率の向上を図る。
事業内容	・漏水修理及び舗装復旧等の業務委託。			
事業開始から現在までの状況変化	・漏水の情報提供を24時間受付体制とし、現場確認並びに対応が迅速な体制を整えた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	有収率	95.11	94.68	94.77	%	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・昨年度と比較すると有収率は若干上がった。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		50,971,674	65,055,657	86,000,859				
事業費(b)(円)		49,873,274	63,579,017	84,748,379				
うち一般財源		49,873,274	63,579,017	84,748,379				
職員給与費(c)(円)		1,098,400	1,476,640	1,252,480				
人役・職員(人)		0.16	0.22	0.19				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・漏水防止の観点から漏水の多発する配水管の積極的な改良を行う。	③取組における課題(Check)	・漏水の多い地区について、漏水の早期発見により、漏水量の低減を図る。
②H30に実施した取組(Do)	・早期の漏水修理に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・漏水の多発する配水管の積極的な改良を行う。